

5.2 日高地域の公共交通の課題

「地域の公共交通の現状と問題点」に対応する「公共交通の課題」を以下のとおり整理します。

【課題1】利用実態に応じた重複路線や非効率路線の最適化

- 【問題点 1】公共交通利用は少数・低頻度で低迷している
- 【問題点 2】バス路線が重複運行しており、その利用に偏りがみられる
- 【問題点 3】運行便数と停留所の待合環境の満足度が低い
- 【問題点 4】増加する公共交通負担への対応
- 【問題点 5】長大なバス路線の分割化などに対する住民理解

- ・系統の利用実態に即した効率的な交通体系の構築により、増加する公共交通負担の軽減の検討が必要です。
- ・サービス水準を維持しながら、長大路線等の分割・再編なども視野に入れた持続的な公共交通の維持・確保に向けた検討・取組が必要です。

【課題2】利用者ニーズに応じた快適な乗継ぎや待合環境の確保など利便性の向上の検討

- 【問題点 6】自ら移動手段を持たない、または移動が困難な高齢者等の増加が見込まれる
- 【問題点 7】自家用車の運転に対する不安
- 【問題点 8】公共交通機関同士の乗継ぎは少数
- 【問題点 9】生活利便施設等が集積する町への公共交通の必要性

- ・自ら移動手段を持たない高齢者などの日常生活に対応する公共交通の維持・確保が必要です。
- ・利用者ニーズに応じた運行形態の検討や、バスターミナル等の待合環境の向上により、利便性を確保することが必要です。
- ・各町独自の輸送サービスを含む公共交通機関同士のスムーズな接続が図られた利便性の高い交通ネットワーク形成が必要です。
- ・生活利便施設等が集積する新ひだか町、浦河町及び日高町への移動手段の維持・確保が必要です。



【課題3】地域住民の生活実態やニーズを踏まえた新たな輸送サービスの提供などバス事業者等との連携による顧客満足度の向上

【問題点 10】利便性向上に向けたデマンド交通などの導入についての検討

【問題点 11】高齢者の運転免許自主返納の促進

- ・小型車両を用いた自宅前送迎などのデマンド交通といったきめ細かなサービス検討により、公共交通の潜在需要の掘り起こしが必要です。
- ・各町における運転免許自主返納特典制度の導入などによる運転免許を自主返納しやすい環境づくりの検討が必要です。
- ・公共交通は冬期間や長距離の移動にあたって安全・安心な交通移動であることの周知と合わせ、自家用車と公共交通の連携方策などの検討が必要です。

【課題4】利用促進に向けた PR 戦略など地域資源を活かした人の流れの創出

【問題点 12】地域の観光資源を活用した公共交通の利用促進策の検討

- ・観光との連携など、地域固有の観光資源を活用した公共交通の利用促進策の検討が必要です。

【課題5】地域全体で公共交通を支える仕組みや機運の醸成、バス運転手の確保

【問題点 13】公共交通を支える仕組みや機運の醸成が必要

【問題点 14】運転手の減少によるバス路線の減便や廃止が懸念

- ・学生の企業訪問や就業体験などを通じ、交通事業者についての情報発信を行うなどの検討が必要です。
- ・大型二種免許の取得に係る補助や健康管理等への配慮などにより、運転手の確保が必要です。

